NAMs 研究会 会員募集！

ヒトを科学し、評価のミライをつくる。

ヒトとの関連性を重視した安全性・有効性評価へ。

産学官をつなぎ、NAMs に関わる研究開発から社会実装までを推進します。

EXCHANGE
学術交流

IMPLEMENT
社会実装

POLICY
政策提言

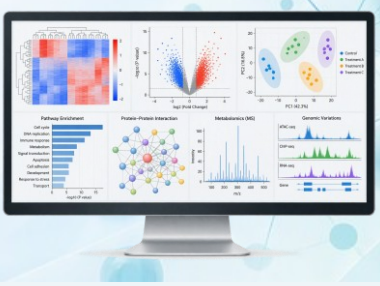
New Approach Methodologies （NAMs）とは

ヒトの生物学に基づき、複数のエビデンスを統合的に活用し、ヒトへの影響をより適切に予測・評価するための新しいアプローチおよび方法論です。

医薬品・化学品・食品・化粧品、環境保健まで、幅広い分野での活用が期待されています。







ヒト細胞由来モデル

iPS 細胞・オルガノイド・生体模倣システムなど

分子・細胞情報

トランスクリプトーム・オミクス解析など

計算・予測技術

QSAR・モデル＆シミュレーション・AI・機械学習など

研究会概要：基礎から社会実装へ

NAMs 研究会は、学術交流・社会実装・政策提言について様々な議論を通じ、日本における NAMs 推進の中核となるプラットフォームを目指します。

01　研究・技術開発

ヒト由来モデル、オミクス、AI・データサイエンス等を融合し、分野横断の研究開発を推進。

02　学術交流・情報共有

学術大会、シンポジウム、講演会等を通じ、研究成果と課題を共有。

03　標準化・データ活用

試験法の標準化、データ活用、Weight of Evidence 評価に向けた議論と連携を促進。

04　政策提言・規制科学

NAMs の行政利用や規制上の活用に関する課題を調査・議論し、その成果を提言書やポジションペーパー等として発信

05　教育・人材育成

若手研究者、技術者、学生への教育・研修を通じ、次世代の担い手を育成。

06　産学官・国際連携

異分野・異業種の交流を広げ、国内外の学協会・国際機関との連携と情報発信を推進。

基礎研究から、製品化研究、臨床研究、規制科学へ

多様な関係者が知見や課題を共有し、基礎研究、製品開発、行政・規制上の観点も含めて、NAMs の活用に向けた議論を進めます。日本発の知見と技術を世界へ発信し、国際調和に貢献します。

研究会設立シンポジウム
令和 9（2027）年 5 月 14 日（金）
会場：タワーホール船堀

第 1 回日本 NAMs 研究会大会
令和 10（2028）年 1 月開催予定
会場：未定

ともに、NAMs のミライを。

研究者・技術者・企業・行政関係者・学生など、皆さまのご参加をお待ちしております。

併せて当研究会の活動にご賛同頂ける賛助会員様も募集しております。

お問い合わせ：NAMs 研究会準備委員会